

新人指導マニュアル(回収)の改訂前後です。
 (図2-①②) 透析回収時のマニュアルは、スタンダードな手技・操作のみの記述で回収時の採血・注射施行の部位、注意点などは、指導者個々により新人に口頭で説明していましたが、不足部分などあったことから、今回改訂マニュアルに部位の画像、注意点などを挿入しました。

(図2-①) **改訂前**



(図2-②) **改訂後**



また、プライミングの改訂マニュアルと同様事故回避に向けての手技の統一も図りました。

今回の改訂は、リスク回避に向けての手技の統一化を図った事から、新人同様ベテランスタッフも再度確認の上施行するよう周知徹底を図りました。

【評価方法】

対象

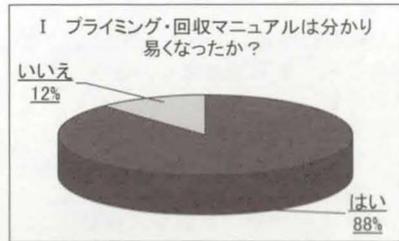
透析スタッフ経験年数 2年以下9名、
 2年以上16名 計25名のスタッフ
 を対象とした。

【方法】

使用者からの評価を得るためアンケート調査・聞き取り調査を行った。

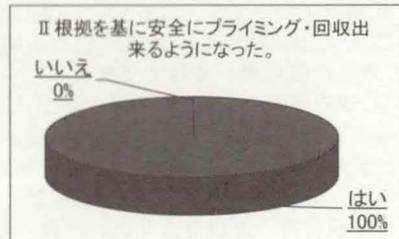
アンケート結果Ⅰ(グラフ-1)(対象スタッフ25名)Ⅰについては、88%のスタッフが分かり易くなったと、答えています。

(グラフ-1)



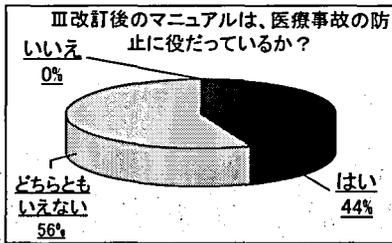
アンケート結果Ⅱ(グラフ-2)(対象スタッフ25名)については、100%のスタッフが根拠を基に安全にできる様になったと答えています。

(グラフ-2)



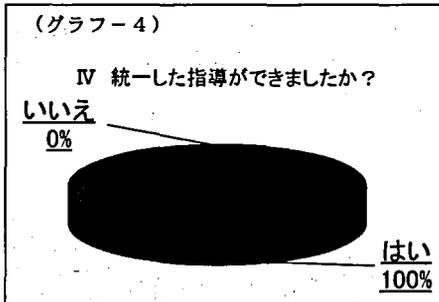
アンケート結果Ⅲ(グラフ-3)(対象スタッフ25名)については、56%が事故防止に役だっているか「どちらともいえない」と答えています。改訂版の試用期間が短い事による結果と考えます。現在回収時の事故はありませんが再認識につながったと考えます。

(グラフ-3)



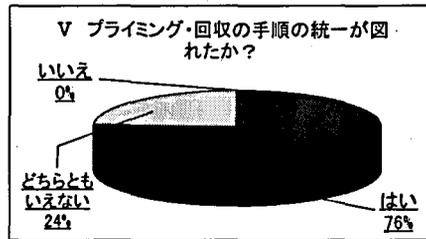
アンケート結果Ⅳ(グラフ-4)(対象スタッフ16名)については、100%のスタッフが統一した指導が出来たと答えています。

(グラフ-4)



アンケート結果Ⅴ(グラフ-5)(対象スタッフ16名)については、76%のスタッフが手順の統一が図れたと答えています。指導者側も図やカラー写真を通して指導することが出来、楽になった。言葉で説明するより指導しやすい。根拠に基づいて指導出来るようになったなどの、コメントが聞かれました。

(グラフ-5)



【結果】

- (1) 改訂後のプライミング・回収マニュアルは画像を豊富に取り込む事により、イメージしやすく改訂前より見やすくなった。手順の中に注意点、何故そうするのか根拠を明記することで安全にプライミング・回収が出来る様になった。
- (2) 2年以上のスタッフからは、マニュアルの改訂により統一した指導が出来るようになった。

【結論】

- (1) 画像を豊富に取り込むことで新人スタッフに対する手順の統一化が図れた。
- (2) 自宅での自己学習として復習する時にイメージしやすくなった。
- (3) マニュアルを統一化する事によりインシデントの分析の把握が容易に出来ることが図れた。

今後も新人指導マニュアルを随時、検討を加え更新して行く予定である。

【参考文献】

- 1) 飯田善俊他: 透析療法のリスクマネジメント、中外医学社、2002,7
- 2) 小川洋史: 透析ハンドブックよりよいセルフケア第3版、医学書院、2000,6